



診療日： 平成 26 年 ____ 月 ____ 日 研修歯科医氏名： 新潟 太郎

診療内容： 感染根管処置（1回目） 部位： 大臼歯

（含まれる範囲が多い方：同数ならよい大きな歯を含む方を選択）

診療内容の概要（簡潔に記載して下さい。）

右上6番。前回コア除去、根管口確認済み。
ラバーダム防湿後、ピーソーリーマーで旧根充材除去から開始。口蓋根は#15で穿通後、#25まで拡大。根尖病巣が認められたMB根はRC-Prepを併用し、#10で穿通した。DB根には根尖病巣はみられず、穿通する感触がなかったためnot apexで#20まで拡大した。
すべての根管にカルペックス貼薬、キャビトンで仮封。

自己評価： 5 4 3 2 1

ほとんど自分でできた=5、ある程度までできた=4、半分くらいできた=3、あまりできなかった=2、まったくできなかった=1
※うまくできた、できなかった、よりもどこまで自力でできたかについて評価して下さい。

本日の診療においてうまくできたこと・できなかったこと・次回までの課題

口蓋根は比較的簡単に穿通することができた。その後、メーターもオーバーせずアピカルストップの感触もあったため、うまく拡大することができたと思う。
MB根は自分で穿通させることができなかったため、指導医に代わってもらった。リーマーを引き抜く際にスティッキー感の有無を確認することが大事とのことだったが、あまりはっきりとわからなかった。
次回、同様の処置を行う際には、スティッキー感を感じ取れるようにしなければと思った。

フィードバックコメント 指導歯科医： 万代 花子

時間がかかったようですが、ラバーダム防湿はしっかりできていたようです。
P根の拡大もうまくできていました。
スティッキーな手応えは、細いリーマーを回さずに根管に押し込むように使い、引き抜くときに抵抗を感じた時にわかります。
この場合、何度も同じ操作を繰り返していくと穿通することがありますので覚えておくといでしょう。
#8、#10などの細いリーマーは回転させて使わないように気をつけて下さい。
ラバーを手際よくかけられるようになれば、根治に使う時間が増えます。
クランプやラバー、フレームのかけ方を練習しておいて下さい。

指導歯科医評価： 5 4 3 2 1

ほとんどできていた=5、ある程度までできた=4、半分くらいできた=3、あまりできなかった=2、まったくできなかった=1